

新型コロナウイルス(COVID-19)に関するTSP太陽の取り組み

新型コロナウイルス感染症は、これまで水際対策、蔓延防止、医療処置等を講じてきましたが、国内では、すでに感染経路の不明な患者が東京都を筆頭に一部の地域で発生しており、このままではオーバーシュート（爆発的患者急増）につながりかねない状況にあります。

また、厚生労働省のクラスター対策班の予測では、4月6日からの1週間で、海外からの帰国者を含めて、国内で最大およそ1,100人の感染の恐れがあるほか、別の試算では、最悪の場合、都内の感染者が2万人に達し、このうち20%にあたるおよそ4,000人は、入院が必要になる見通しが発表されています。

東京都は、民間の医療機関にも協力を要請して患者を受け入れる病床を最大で4,000床まで整備するなど、今後の対応方針を取りまとめ対策に乗り出しています。しかし、日々刻々と増加している感染者数の先止まりは、見通しが立っておらず、このままでは医療崩壊につながりかねません。

現在、懸念されているのは、PCR検査にて陽性判定の患者に対し、入院治療が必要な重症患者を受け入れる「病床の確保」です。医療崩壊を未然に防ぎ、被害を拡大させないためには、自由度が高い仮設の医療施設が機動力であり、効果的な方策ではないかと考えます。

弊社は、東日本大震災をはじめ、多様な仮設建築物の計画、設計、施工まで一貫通貫で手掛けてきており、多数の実績がございます。まずは、弊社所有の仮設資材とノウハウをご活用いただき、事態の早期鎮静化に向けた社会活動に貢献したいと考えております。そして「国難」と言うべき現状を打破し、一日も早い終息を願っております。

TSP太陽の活用例



上記に関する営業のお問い合わせ

03-3719-3723

上記に関する取材のお問い合わせ

070-1642-0026

電話対応時間：土・日・祝日を除く9:00～17:30

上記の時間以外のお問い合わせは、弊社の問い合わせフォームよりご連絡ください。

CONTACT